

『 新聞の投書を読み比べよう ～書き手のくふうを考えながら新聞の投書を読もう～ 』

東広島市立中黒瀬小学校

学習者： 第6学年 組 38名

1 単元の考察

単元について

本単元は、同じテーマに対する新聞の投書を比べて読むことで、読み手を説得するための工夫がどのようにされているかをとらえ、文章を評価する力を育てることをねらいとしている。これは、学習指導要領の第5学年及び第6学年「C読むこと」の指導事項(イ)「目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること」及び、(ウ)「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかみだりすること」に関連する。

本単元の比べて読むという学習は、相互的に関連付けて考える力を育むのに有効である。読み取る際には、投書の書き方や述べ方、どの投書に説得力があるのかを考える力をつけることができる。また、文章構成をとらえることにより、どのような構成が説得力をもつのか、分析し、考え、評価することもできる。加えて、意見文を読み、自分の意見をもつことにより、新聞を読む習慣や投書を行うという一種の社会参加にも繋がると考える。

この単元は、言語活動C(2)のウ「編集の仕方や記事の書き方に注意して新聞を読むこと」に対応している。

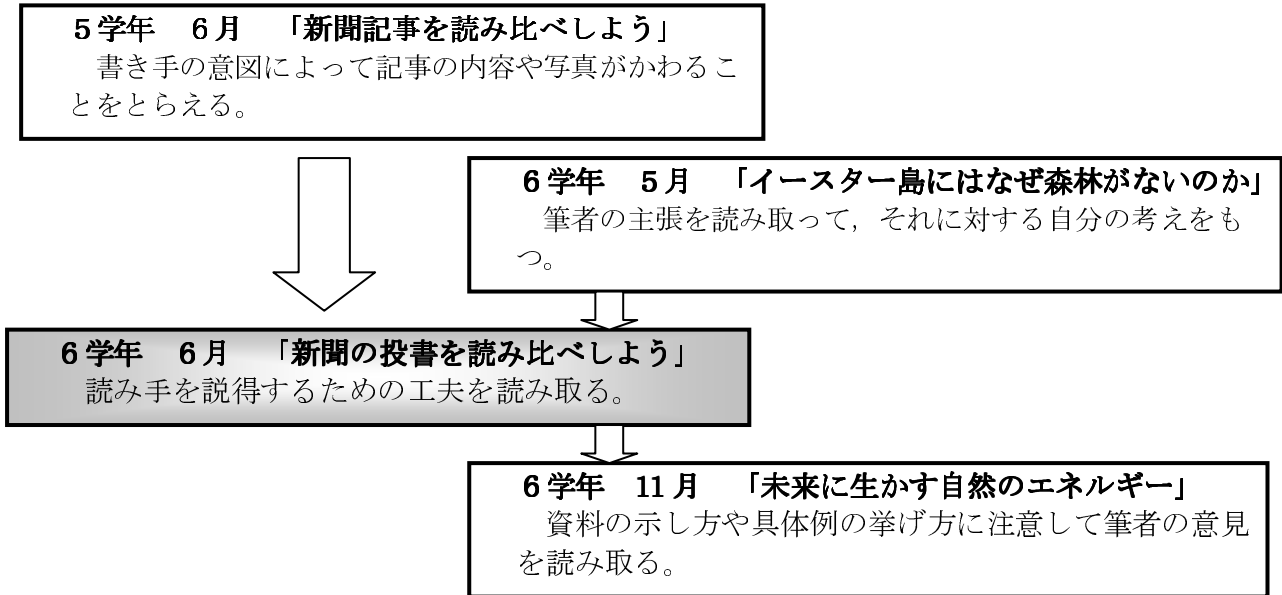
児童について

- 児童は5学年において、「新聞記事を読み比べよう」という学習をしてきた。2つの新聞記事を読み比べ、書き手の意図によって記事の内容や写真がかわることをとらえてきている。また、5月には説明文「イースター島にはなぜ森林があるのか」において、筆者の主張を読み取り自分の考えをもつという学習をした。筆者の考えを的確にとらえて、自分の考えを書けた児童は、31.6%であった。
- 国語科意識調査では、「国語が好き」と答えた児童は、57.9%、「説明文の問題を解くのが得意か」は44.7%である。特に「自分の考えを理由をつけて話しているか」については、55.3%と低い。国語科の学習に苦手意識をもっており、文章を読み取る力や自分の考え理由をつけて表現する力がついていない児童が約半数いる。
- 本学級の児童は、朝読書や配膳時間等、進んで本を読んでいるとはいえない。初めての文章に出会った際には、読むことに抵抗があり、取り組もうとしない児童もいる。「投書の読み方」を指導しながら、読んで自分の考えをもつことは楽しいと感じさせる必要がある。

指導の手立て

- ・自分が一番納得する投書はどれか選び、考えをまとめるという目的を明確にすることで、学習の見通しをもたせる。
- ・説明文の読み進め方や基本用語等の掲示物を参考にさせることで、投書の文章の構成を読み取らせる。
- ・四つの投書を読み比べる際には、習得→活用の過程を仕組み、まず、一つ目の投書を全員で読み取り、次にその方法を使って残りの三つの投書を自分の力で読んでいくようにする。
- ・書き手の説得の工夫をとらえさせるために、理由付けの仕方や根拠の挙げ方に着目させ、読み比べて考えさせる。
- ・共通点や相違点がわかるようにするために、表などを用いて構造的にとらえさせるようにする。
- ・学習計画表を用い、毎時間の学習や単元で付いた力について振り返らせる。

2 学習の系統



3 単元の目標

- 投書の特徴をとらえ、進んで書き手の主張や書き手の説得の工夫を読み取ろうとしている。
【関心・意欲・態度】
- 目的に応じて、本や文章を比べて読むことができる。 【読むことイ】
- 目的に応じて、文書の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことができる。 【読むことウ】
- 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ（キ）】

4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
投書の特徴や書き方について関心を持ち、そこに書き手の工夫があることを感じながら必要な情報を集めようとしている。	① 投書の書き手の意図を理解した上で、比べて読んでいる。 ② 目的に応じて、文書の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んでいる。	文や文章には、いろいろな構成があることに気付いている。

5 学習指導計画（全6時間）

次時	学習内容				評価	
		関意	読む	言語	評価規準	評価方法
一 ①	<ul style="list-style-type: none"> ○ 投書について知る。 ○ 教材のねらいを確かめ、学習の見通しをもつ。 ○ 四つの投書を読み、内容を知る。 	◎		○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 投書の特徴をとらえ、書き手の主張や説得の工夫を読み取ろうとしている。(関意) ・ 文や文章には、いろいろな構成があることに気付いている。(言語) 	学習計画表 発言 ノート

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一つ目の投書について、文章構成とその内容を読み取る。 ○ 残り三つの投書について、文章構成とその内容を読み取る。 		◎	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 投書の書き手の意見や主張、理由や根拠の内容をとらえている。(読ウ) ・ 文や文章には、いろいろな構成があることに気付いている。(言語) 	学習計画表 発言 ノート ワークシート
二 ④	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一つ目の投書について、理由付けの仕方や根拠の挙げ方から、書き手の説得の工夫について考える。 ○ 残りの三つの投書について、理由付けの仕方や根拠の挙げ方から、書き手の説得の工夫について考える。 <p>【本時】</p>		◎		<ul style="list-style-type: none"> ・ 理由付けの仕方や根拠の挙げ方から書き手の意図をとらえている。(読イ) 	
三 ①	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分が納得できる投書の一つを選び、納得した理由を明確に、自分の考えをまとめる。 	○	◎		<ul style="list-style-type: none"> ・ 書き手の意見について自分はどの投書に賛成なのかを理由を明確にしてまとめている。(読イ) ・ 投書の特徴をとらえ、書き手の主張や説得の工夫を読み取ろうとしている。 	学習計画表 発言 ノート ワークシート

6 本時の展開 (本時 5/6)

(1) 本時の目標

- 投書の理由付けの仕方や根拠の挙げ方について、書き手の読み手を説得するための工夫をとらえることができる。

(2) 学習の展開

	学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師の発問 (◎: 中心発問) や指示 ・ 予想される児童の反応 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導上の留意点 ☆評価規準 (評価方法)
つかむ	1 前時までの学習を想起する。 2 学習のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 四つの投書の文章構成について振り返ってみましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ構成で述べられている。 ・ ①話題提示 ②書き手の意見や主張 ③第1の理由や根拠 ④第2の理由や根拠 ⑤予想される反対意見に対する反論 ⑥書き手の考え (まとめ) ○ 一つ目の投書の主張は何ですか。その理由付けにどんな工夫がありましたか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 体に負担をかけてまでスポーツをすることはない。 ・ 自分の経験を述べている。自分の中学校の頃の話がでてきたから。 ○ 今日の学習は何ですか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 残りの三つの投書も同じように考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時までの学習を、掲示物やノートを用いて想起させる。 ・ 学習計画表で学習の見通しをもたせる。

投書の理由付けや根拠の挙げ方から書き手の読み手を説得するための工夫を見つけよう。

<p>考える</p>	<p>3 投書の理由付けの仕方や根拠の挙げ方について、書き手の工夫を読み取る。 【一人学び】</p>	<p>◎ 読み手を説得するためにどんな書き方の工夫をしているのか考えよう。</p> <table border="1" data-bbox="480 309 1074 1220"> <thead> <tr> <th></th> <th>②の投書</th> <th>③の投書</th> <th>④の投書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>意見や主張</td> <td>スポーツは勝利を求めるもの</td> <td>スポーツは一生の間楽しむもの</td> <td>スポーツは勝利を求めて限界まで努力するもの</td> </tr> <tr> <td>理由や根拠</td> <td>・勝ちたいからこそ練習する ・試合に勝つことで大きな喜びや満足・名誉</td> <td>・健康を保つのに大切 ・きつい練習はスポーツ嫌いになる ・長続きしない</td> <td>・練習で限界を超えた自分を知っておかないと本番で勝たない ・勝ったのは奇跡ではなく、それだけのことをしたから</td> </tr> <tr> <td>どの言葉から工夫を考えたのか (教材文を抜き出すと)</td> <td>・実際にいろいろな大会を見ても分かるように ・テレビで見る…</td> <td>・社会人を対象にしたあるアンケート調査では ・74%も… ・54%も…</td> <td>・柔道の金メダリスト古賀稔彦… ・と言っている ・サッカーのフランスを優勝に導いた…</td> </tr> <tr> <td>理由付けの仕方・根拠の挙げ方</td> <td>見たり聞いたりしたこと</td> <td>アンケートの結果をもとに</td> <td>有名人の言葉を使っている</td> </tr> </tbody> </table>		②の投書	③の投書	④の投書	意見や主張	スポーツは勝利を求めるもの	スポーツは一生の間楽しむもの	スポーツは勝利を求めて限界まで努力するもの	理由や根拠	・勝ちたいからこそ練習する ・試合に勝つことで大きな喜びや満足・名誉	・健康を保つのに大切 ・きつい練習はスポーツ嫌いになる ・長続きしない	・練習で限界を超えた自分を知っておかないと本番で勝たない ・勝ったのは奇跡ではなく、それだけのことをしたから	どの言葉から工夫を考えたのか (教材文を抜き出すと)	・実際にいろいろな大会を見ても分かるように ・テレビで見る…	・社会人を対象にしたあるアンケート調査では ・74%も… ・54%も…	・柔道の金メダリスト古賀稔彦… ・と言っている ・サッカーのフランスを優勝に導いた…	理由付けの仕方・根拠の挙げ方	見たり聞いたりしたこと	アンケートの結果をもとに	有名人の言葉を使っている	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの学習でまとめているワークシートの続きを考えさせることで、これまでの学習を生かすようにする。 <p>☆ 工夫を読み取る手がかりとなる表現を見付けている。 (ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援が必要な児童には、①の投書で学んだ方法を思い出すように助言する。また、形式段落の3・4段落に着目させるようにする。
	②の投書	③の投書	④の投書																				
意見や主張	スポーツは勝利を求めるもの	スポーツは一生の間楽しむもの	スポーツは勝利を求めて限界まで努力するもの																				
理由や根拠	・勝ちたいからこそ練習する ・試合に勝つことで大きな喜びや満足・名誉	・健康を保つのに大切 ・きつい練習はスポーツ嫌いになる ・長続きしない	・練習で限界を超えた自分を知っておかないと本番で勝たない ・勝ったのは奇跡ではなく、それだけのことをしたから																				
どの言葉から工夫を考えたのか (教材文を抜き出すと)	・実際にいろいろな大会を見ても分かるように ・テレビで見る…	・社会人を対象にしたあるアンケート調査では ・74%も… ・54%も…	・柔道の金メダリスト古賀稔彦… ・と言っている ・サッカーのフランスを優勝に導いた…																				
理由付けの仕方・根拠の挙げ方	見たり聞いたりしたこと	アンケートの結果をもとに	有名人の言葉を使っている																				
<p>深める</p>	<p>【全体交流】</p>	<p>◎ 投書の説得の工夫をノートにまとめてみましょう。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自分の経験 ②見たり聞いたりしたこと ③資料に基づくデータを使う ④有名人の言葉の引用 <p>○ 本時の学習について、学習計画表に振り返りを書きましょう。</p> <p>○ 次の時間は、自分が納得できる投書を選んで、その理由をはっきりさせながら、自分の考えをまとめます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 相手の意見と自分の意見の共通点と相違点をみつけながら聞くよう助言する。 <p>☆ 理由付けの仕方や根拠の挙げ方から書き手の読み手を説得するための工夫をとらえている。 (ノート)</p>																				
<p>まとめる</p>	<p>4 四つの投書の書き手の読み手を説得するための工夫をまとめる。</p> <p>5 本時を振り返り、次時の活動を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習のめあてにそった振り返りさせる。 次時の見通しをもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習のめあてにそった振り返りさせる。 次時の見通しをもたせる。 																				

(3) 板書計画

新聞の投書を読み比べしよう
めあて

投書の理由付けや根拠の挙げ方から書き手の読み手を説得するための工夫をみつけよう。

④	③	②	①	投書
スポーツは勝利を求めて限界まで努力するもの	スポーツは一生の間楽しむもの	スポーツは勝利を求めもの	スポーツは体に負担をかけてまでい	意見や主張
<ul style="list-style-type: none"> ・練習で限界を超えた自分を知っておかないと本番で勝てない ・勝ったのは奇跡ではなく、それだけのことをしたから 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康を保つのに大切 ・きつい練習はスポーツ嫌いになる ・長続きしない 	<ul style="list-style-type: none"> ・勝ちたいからこそ練習する ・試合に勝つことで大きな喜びや満足・名誉 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの目的に反する ・成長期の若者は体が十分に発達してないからこわすと続けられない 	理由や根拠
<ul style="list-style-type: none"> ・柔道の金メダリスト古賀稔彦 ・と言っている ・サッカーのフランスを優勝に導いた 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人を対象にしたあるアンケート調査では ・74%も ・54%も 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際にいろいろな大会を見ても分かるように ・テレビで見る 	<ul style="list-style-type: none"> ・わたし自身、中学校時代にサッカーをしていたが 	どの言葉から工夫を考えたのか (教材文を抜き出すと)
有名人の言葉を使う	アンケートの結果をもとにする	見たり聞いたりしたことから述べる	自分の経験を述べる	理由付けの仕方・根拠の挙げ方